

平成30年度 「おもしろ科学実験」

- 1 日 時 平成30年12月5日（水）午前9時30分から午後2時30分まで
- 2 会 場 富山県総合教育センター（富山市高田525）
- 3 参加者 49人
＜内訳＞ 児童生徒 24人（小学生13人、中学生11人）
保護者 17人
大学生ボランティア 8人（富山大学）
- 4 活動内容
午前 はじめの会・出会いのゲーム



参加者全員で、「お皿で風船トス」をしました。風船が床に落ちないように、みんなで協力して、紙皿でトスをし合うゲームです。最初は、緊張気味だった子供たちですが、動いたり笑ったりしているうちに、会場が和やかな雰囲気になりました。

実験1、2 （四つの実験から二つを選択）

＜顕微鏡で見る世界＞



＜風船ホバークラフト作り＞



＜空気砲で遊ぼう＞



＜-196℃の世界＞



実験1、2では、四つの実験から二つを選択して行いました。身近な素材を使った実験ばかりで親しみやすく、参加者はどの実験にも真剣に取り組みました。

午後 共同実験 <熱気球を作ろう>



午後は、参加者全員でポリ袋を利用した熱気球を作りました。初めに、袋の口の部分を電氣ごてを使って型紙通りにくっつけ、余分なところをハサミで切り取ります。次にピアノ線を輪にして送風口部分にとめます。最後にポリ袋に各自思い思いの絵を描いたら、自分だけの熱気球の完成です。ドライヤーの温風を入れて手を離すと、ふんわりと熱気球が浮かびました。天井まで上がる人もいました。最後に全員協力して巨大熱気球を浮かせることに成功しました。

5 アンケートから

<参加児童生徒>

- 前とちがう実験ができてとてもうれしかったです。
- 空気砲を作ってまをたおすゲームはとても楽しかったです。
- 人とのふれあいがよかったなと思いました。相手と協力したりすることができて良かったです。

<参加保護者>

- 積極的に製作や実験に参加していたのが印象的でした。落ち着いて過ごせるようになり成長を感じることができました。
- 実験に興味をもち、楽しそうに参加でき、人前で発言もできていました。
- 大学生ボランティアに会えるのを楽しみにしていました。一緒に過ごせて嬉しそうでした。他の人と関わって笑顔でいるのは嬉しいです。